

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

横浜ゴム株式会社 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市東尾道20番地

(3) 業種

自動車タイヤ・チューブ製造

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：補正庫入れゴム量(t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
エネルギー 起源CO2	22,125	16,372	14,708					
		-26.0	33.5	100.0	100.0	100.0	100.0	
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	1.02	0.84	0.97					
		-17.7	4.9	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績に対する 自己評価	改善を継続的に行っているが、大幅な生産量減（平成25年度対令和3年度比90.0％）によって固定利用分のエネルギー比率が増加したため、原単位変化で基準年度より8％以上の削減が出来なかった。							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の使用量を原単位で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明器具への更新</li> <li>・季節変動・機械停止時の電力消費適正化</li> <li>・インバーター周波数適正化</li> </ul>
2	燃料使用量の削減	燃料の使用量を原単位で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気配管、温水配管等の断熱強化</li> <li>・加硫機本体遮熱塗料塗布</li> <li>・加硫脱気器給水タンク昇温</li> </ul>
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	地域・社会貢献活動	ゴミ回収 合計103kg	周辺道路の清掃活動
2	下水排水 油分離槽設置	ノルマルヘキサン外部流出リスク低減	厨房用油分離槽大型化 0.75m <sup>3</sup> →5.0m <sup>3</sup> 最終油分離槽設置 25.2m <sup>3</sup>
3	雨水排水溝暗渠化・浸透柵設置	油分・カーボン粉体等の外部流出リスク低減	雨水排水溝暗渠化 U字溝及び浸透柵設置

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。